

2021年3月5日

各 位

第一工業製薬株式会社

「健康経営銘柄 2021」に2年連続選定
「健康経営優良法人 2021～ホワイト500～」に4年連続認定

第一工業製薬（本社：京都市南区、会長兼社長：坂本隆司）は、健康経営に優れた企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で取り組む「健康経営銘柄 2021」に2年連続で選定されました。

あわせて、当社および関係会社のゲンブ、第一建工、第一セラモ、京都エレクトクスが経済産業省と日本健康会議の主催する「健康経営優良法人 2021～ホワイト500～」に4年連続で認定されました。また、2018年にグループ化した池田薬草も「健康経営優良法人 2021～ホワイト500～」に2年連続で認定されました。



1. 当社における健康経営の取り組みについて

当社は、2017年9月に従業員の健康維持と向上を重要な経営課題ととらえ「健康宣言」を行いました。会社が従業員の健康の維持向上に努めるとともに、従業員の健康行動指針を明文化し、全社一体の健康づくりを推進しています。従業員健康行動指針として、「定期健康診断・特殊健康診断など法定事項は必ず適時に受診する」、「健康診断の結果に基づき、異常があった場合は速やかに二次検診を受けるよう努める」など5項目を挙げ、従業員の健康を維持・増進することで生産性や企業価値向上を目指しています。

2. 健康経営銘柄について

経済産業省が東京証券取引所と共同で、東京証券取引所の上場企業の中から、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を「健康経営銘柄」として選定しています。長期的な視点からの企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業として紹介することを通じ、健康経営に取り組む企業が社会的に評価され、健康経営の取り組みがさらに促進されることを目指しています。

「健康経営度調査」の回答結果を、「経営理念・方針」、「組織・体制」、「制度・施策実行」、「評価・改善」、「法令遵守・リスクマネジメント」という5つのフレームワークから評価した上で、財務面でのパフォーマンスなどを勘案して選定されます。

「健康経営銘柄2021」として、29業種から48社を選定されました。

3. 健康経営優良法人について

健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

「健康経営優良法人2021」として、「大規模法人部門」に1801法人（上位法人には「ホワイト500」の冠を付加する）が認定されました。

※ 健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

4. ご参考

経済産業省プレスリリース「健康経営銘柄2021」

<https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210304004/20210304004.html>

経済産業省プレスリリース「健康経営優良法人2021」

<https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210304005/20210304005.html>

以上

・本件についてのお問い合わせ

第一工業製薬株式会社 管理本部 経営戦略部 広報IR株式グループ

TEL.075-323-5951